



でもわかる!

森林GIS入門

ArcView版基礎編

その5
オートラベルの設定

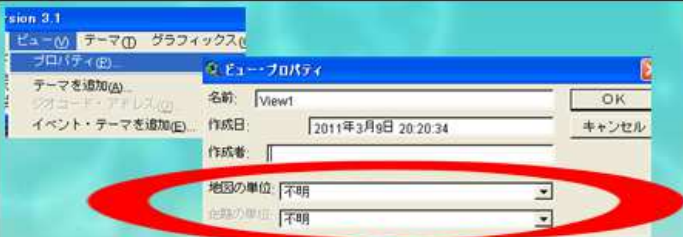



早速前回からの続きです。プロジェクトファイルより前回の続きを表示してください。

こみぼちゃん

かなめでちゃん

こんにちはわ
今回で5日目ですね。
一緒にがんばりましょう。



「ビュー」→「プロパティ」を選択すると、ビュープロパティが表示されます。そこで、「地図の単位」に「m」を指定すると、「距離の単位」が選択可能となりますので、ここでも「m」を選択して「OK」ボタンを押します。

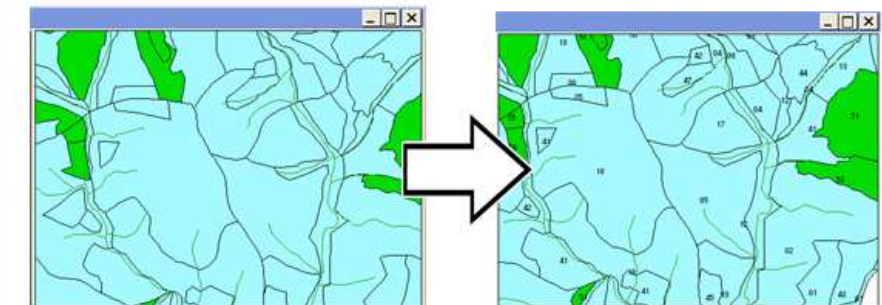
このように縮尺が表示されますので、後は好きな縮尺を入力してみてください。

縮尺 1: []

あら、縮尺が表示されてないんです

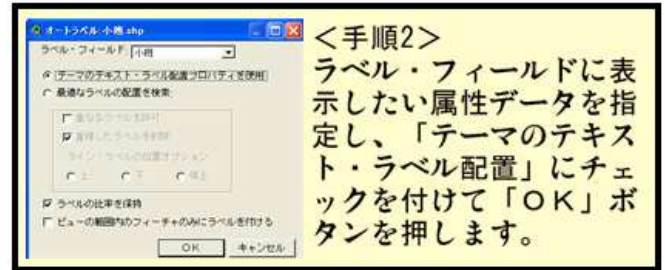
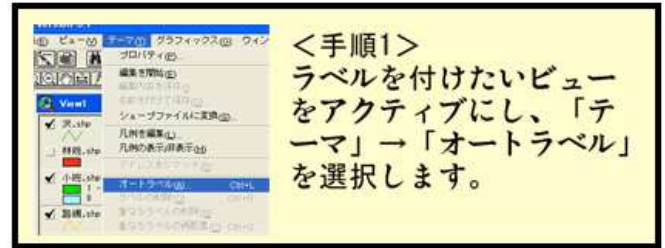
かあああ
照れるな

こみぼちゃん
よく気がついたわね、
それでは、縮尺の設定を
して見ましょうね



オートラベルとは、ポリゴンやライン・ポイントが持っている属性データを、画面に全自動的に表示する方法です。この表示された数値などを「ラベル」と言います。林班や小班の表示などによく使われます。

それでは、本題のオートラベルについて、説明します。



<解説>
 最初に表示される文字の大きさは14ポイントで固定されています。そのため、オートラベルを実行する前に、画面を拡大または縮小し、14ポイントで表示される最適の大きさに調整してからオートラベルを実行しましょう。
 ラベルの倍率は、常に14ポイントで固定されていますので、一度ラベルを付けると、拡大・縮小して同じ大きさを維持します。

